



2024年6月26日

各位

会社名 株式会社 P E G A S U S
代表者名 代表取締役社長 美馬成望
(コード番号：6262 プライム市場)
問合せ先 上席執行役員管理本部副本部長 金子貴司
(TEL：06-6451-1351)

上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2024年3月31日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2024年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり、今回不適合となった流通株式時価総額については2026年3月31日までに上場維持基準に適合するため、下記及び別紙の通り各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (2024年3月31日時点)	8,553人	184,915単位	87億円	74%
上場維持基準	800人以上	20,000単位以上	100億円以上	35%以上
適合状況	○	○	×	○
計画期間	—	—	2026年3月31日	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び内容

プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針、課題及び内容については、添付の「プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以上



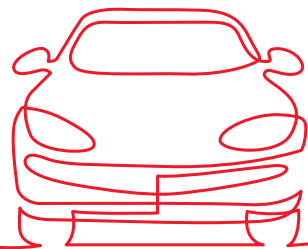
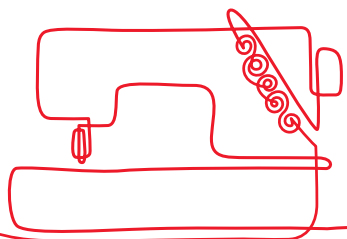
PEGASUS®

証券コード 6262

プライム市場上場維持基準の 適合に向けた計画書

2024年6月26日

株式会社PEGASUS



PEGASUS CO., LTD.

当社の2024年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」の基準を充たしておりません。

計画期間である2026年3月31日までに上場維持基準を充たすため、各種取り組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (2024年3月31日時点)	8,553人	184,915単位	87億円	74%
上場維持基準	800人以上	20,000単位以上	100億円以上	35%以上
基準未達項目	○	○	×	○
計画期間	—	—	2026年3月31日	—

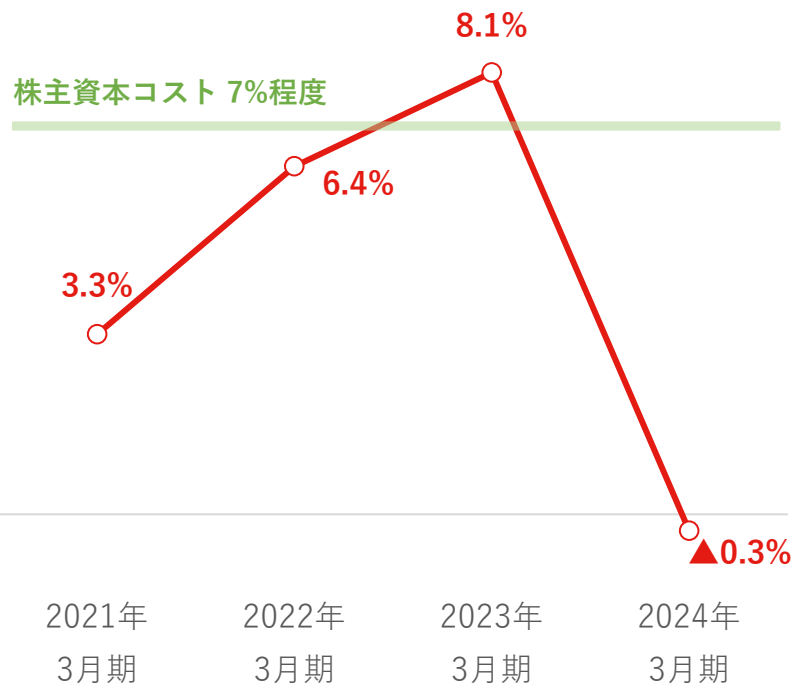
基本方針

流通株式時価総額基準の充足に向けて、**既に実行済みの成長投資による収益拡大**や、**株主還元の充実**により企業価値を高め、流通株式時価総額の向上を目指します。

2026年3月31日を計画期間として設定しておりますが、2025年3月期業績目標の達成を優先課題と認識し、各施策を実行します。

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (目標)
売上高	175億円	225億円
当期純利益	▲ 0.7億円	10億円
EPS	▲ 2.90円	40.3円
流通株式数	18,491千株	18,491千株

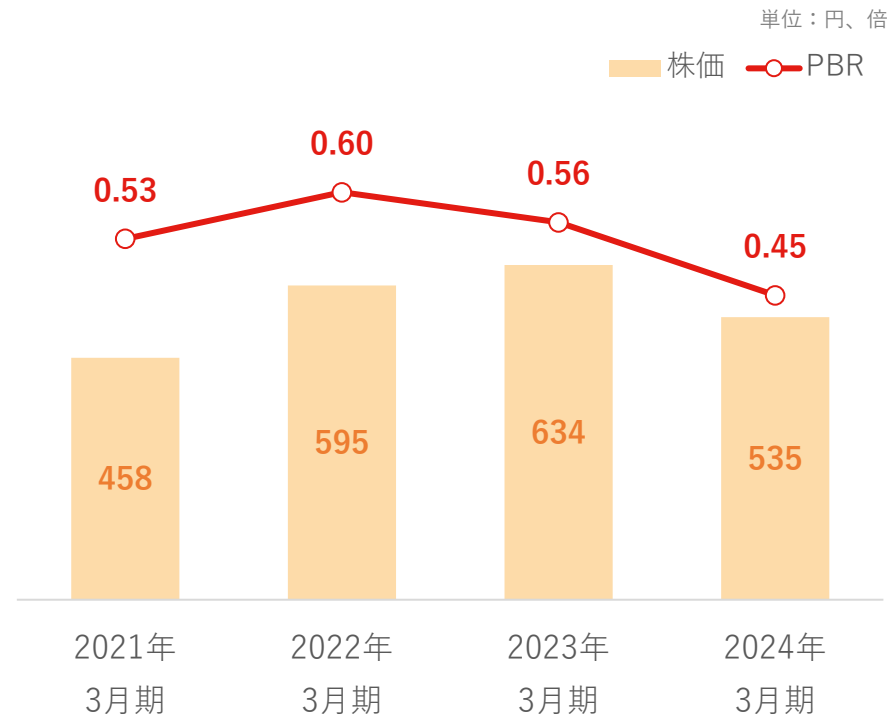
ROE



課題① 収益力の向上（安定化）

ROEは当社が認識している株主資本コスト（7%程度）を継続して上回ることが出来ていない状況

株価・PBR



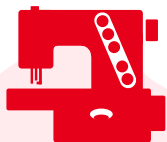
課題② 市場からの評価向上に向けた情報開示

株主資本コスト低減に向けた十分な情報開示を行えておらず、市場から評価を得られていない状況

資本コストや株価を意識した経営を推進し、2024年5月20日に公表した中期経営計画（2024 - 2026年度）で掲げる各施策の実行により中長期的な企業価値向上と持続的成長を実現してまいります。

2026年3月期までにおける取組内容

2026年3月31日を計画期間として下記内容に取り組み、優先課題として2025年3月期業績目標の達成を目指します。



アパレルマシナリー事業

- 省力機器やデジタルミシン等の新製品開発に注力
- ベトナム工場への投資完了による生産能力の拡大
- 新規加工機械の導入による生産能力の更なる拡大
- 価格競争力を有した機種を市場投入し、低価格市場の開拓

2025/3期
売上高 **141.1**億円

※2024/3期売上高：96億円



オートモーティブ事業

- 安定した供給体制の構築に向けた生産設備の大幅拡大
- メキシコ工場拡張、中国南通工場の量産体制への移行
- 新たな部品への挑戦による商品ラインナップの拡大
- 仕上げ加工などの自動化による品質安定及び販路拡大

2025/3期
売上高 **84.6**億円

※2024/3期売上高：79億円



株主還元・IR活動強化

- 安定的な株主還元の実施及び配当性向30%以上の継続
- マテリアリティ（重要課題）と価値創造プロセスなど、非財務情報の開示

2025/3期
年間配当金 **13**円/株

2025/3期
配当性向 **32.3**%

Beyond the Limits ~ 限界を超えてみせる ~

3つ(製品・サービス・品質)の差別化を常の実現し、お客様の想像・自分の限界・社会の常識を超えるために、本中期経営計画に掲げる成長戦略や重点施策を実行し、売上高300億円、営業利益32億円を目指します。

既存事業の持続的成長
新規事業による更なる進化

中期経営計画 2024-2026年度

生産戦略

設備拡充・
生産エリア最適化

市場戦略

販売エリアの拡充・
顧客拡充

商品戦略

商品ライン
ナップの拡充

売上高 300億円
営業利益 32億円

対処すべき課題

生産体制の拡充	商品開発力強化・加工技術の向上
市場浸透商品の売込み	財務資本施策の実行

2024年3月

2027年3月

将来

企業価値向上
成長戦略と重点施策の実行

持続的成長
更なる進化

企業理念“人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること”に基づき、創業当時より、日々の事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組んでまいりました。現在においても、社会や地球環境の持続可能性の重要性を踏まえたうえで、経営基本方針を策定しており、これからも企業理念に基づいた事業活動を通じて、持続可能な社会の発展につなげてまいります。

E

Environment 環境

- 生産工場における太陽光パネル発電の導入や、本社社屋における雨水の有効活動などを行っております。



天津工場太陽光パネル発電

S

Social 社会

- 2030年までに女性社員比率 35%、女性管理職比率 15%を目指しております。



女性社員の活躍

G

Governance ガバナンス

- 多種多様なステークホルダーと業績、方針等、様々な角度での対話を実施しております。



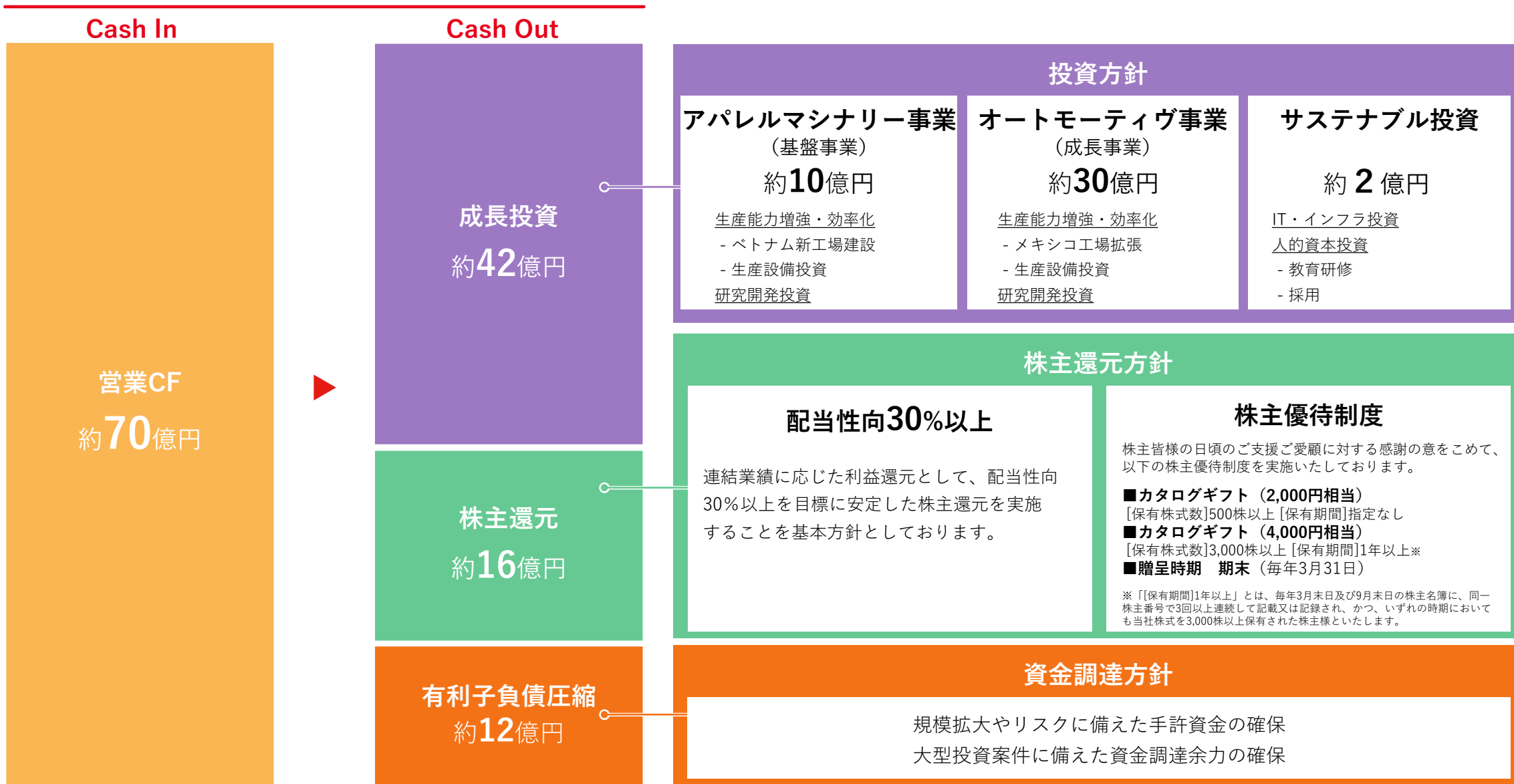
IR面談の強化

	取り組み課題	主な活動
E (環境)	環境負荷低減への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ性能の高い小型モーターの開発 ダイカスト生産現場のクリーンな環境整備（污水浄化・大気汚染物質削減設備設置） ミシン附属説明書の電子化による資源削減 再生可能エネルギーや環境性能の高い設備の導入 カーボンニュートラルの取り組みとして太陽光発電設備の導入
S (社会)	人的資本の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 海外子会社管理職、役員に現地スタッフの登用 リモートワークの導入やITを活用した業務効率化により、多様な働き方を推進 海外子会社現地スタッフへの技術・知識の共有 積極的な新卒・キャリア採用 人財育成・開発のための各種教育プランの実施
	労働環境改善への貢献	<ul style="list-style-type: none"> お客様の安全や使いやすさに配慮した、ユーザーフレンドリーな製品の開発（操作性向上でオペレーターの作業軽減と品質、生産性の向上を実現） 生産工場における自働搬送設備導入による安全性の向上 リフレッシュタイム導入による組織活性化・生産性向上
G (ガバナンス)	ガバナンス体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 社外役員比率50%以上、女性役員比率の重視（独立社外役員において、取締役3名、監査役2名を登用（男性：3名、女性：2名）） 取締役会における多様性（国籍問わず、様々な分野で活躍している人材を取締役や経営幹部に積極的に登用） 投資家とのコミュニケーション機会充実 財務戦略の徹底（キャッシュアロケーション、自己資本比率等）

今後の方針

マテリアリティ（重要課題）と価値創造プロセスなどの非財務情報の開示を行います。持続可能なビジネスモデルの構築とステークホルダーとの透明性の高い関係構築を目指し、サステナブルな経営を実施してまいります。

2024-2026年度 3か年累計



開示情報の充実化

下記取り組みによる情報の提供

- 海外投資家を意識した**英文開示情報の充実**
(決算短信、決算説明資料、招集通知、その他説明会資料等)
- **サステナビリティに係るマテリアリティ** (重要課題) などの**非財務情報の開示推進**
- **気候変動への対応、環境負荷低減に係る取り組みの推進**

株主・投資家との対話

コミュニケーション機会の充実

- **代表取締役社長等をメインスピーカーとするIR・SR面談を年間延べ50回以上実施**
- 事業環境の変化、当社のビジネスモデルと強み、今後の成長戦略など株主や**投資家の関心事項**となる**テーマによる対話**
- **セグメントごとの事業説明会等の実施**

IR体制拡充により、既存株主・投資家との関係性の深化及び新規株主・投資家からの投資促進を目指します。

2023年4月1日、社名が「ペガサスミシン製造株式会社」から
「株式会社PEGASUS」へ変わりました



PEGASUS®